


家庭で道徳

R2・6・5 発行
No.1

道徳たより

「道徳ってどんなふうに勉強するのだろう？」と思いませんか。現在は小・中学校では、道徳は「特別の教科道徳」として教科となっています。道徳の時間では、下記にあるような内容について、自分で考え、そしてみんなで考え、その考えを共有します。道徳では考えることが重要なのです。考えるテーマは下の表の22の項目です。どのテーマも人が人として生きていくのに大切なことです。

自分自身に関すること	人との関わりに関すること	集団や社会とのかかわりに関すること	生命や自然、崇高なもののかかわりに関すること
(1) 自主・自律・自由と責任	(6) 思いやり・感謝	(10) 遵法精神・公德心	(19) 生命の尊さ
(2) 節度・節制	(7) 礼儀	(11) 公正・公平・社会正義	(20) 自然愛護
(3) 向上心・個性の伸長	(8) 友情・信頼	(12) 社会参画・公共の精神	(21) 感動・畏敬の念
(4) 希望と勇気・克己と強い意志	(9) 相互理解・寛容	(13) 勤労	(22) よりよく生きる喜び
(5) 真理の探究・創造		(14) 家族愛・家庭生活の充実	
		(15) よりよい学校生活 集団生活の充実	
		(16) 郷土の伝統と文化の尊重・郷土を愛する態度	
		(17) 我が国の伝統と文化の尊重・国を愛する態度	
		(18) 国際理解・国際貢献	

中学生は自分の考えを人に伝えるのに抵抗を感じやすい年頃です。でも、だからこそ、学級の仲間全員で考え、考えを伝え合う時間としたいのです。

道徳の授業は学年ごとに道徳の授業の時間が決まっています。1年生は月曜日の2時間目、2年生は火曜日の2時間目、3年生は木曜日の2時間目です。1年間で35時間の授業を予定しています。基本的には学級で担任との授業となります。学年全体で行う道徳や担任以外の授業も計画されています。

思春期の今、まず、自分で考え、自分を知ることにはチャレンジしてほしいです。そして、週1回の道徳の授業を自己の成長に繋がる時間にしてほしいです。